

おおい図書館

No.101

発行
代表
青木和子
松戸市牧原1-104
TEL 047-311-0886
416

予算委員会の

傍聴報告

伊藤 和子

3月22日、市議会予算委員会の教育費審議を傍聴してきました。

(おおい図書館会員5名傍聴)
午前中は、重箱の隅をほじくるような細かなやり取りで終わってしまいました。

千年に及ぶ日本の官僚制の根幹は、ちっとも変わっていないようにだと、今更ながら感心しました。

官吏はせっせとデータを集め、文章化し、ひたすら上司へ送る。予算書の厚いこと、4センチくらいありましたよ。

議会等では、議員の質問内容を前以って聞き、答弁書を作って、それが答になっていようがいまいが、型の如く返答する。そのうち時間切れで一件落着と相成る、という仕組みです。

質問内容も「あんな事聞いてどうなるの?」と聞いたいようなものが多かった。たとえは、「学校の統廃合によって転校させられた児童たちに不登校が増えたとしたら、その責任はどうするの?」と。不登校児が増えると予想するなら、最初から統廃合などしなければいいと思っけど、万止むを得なくても、もつと当事者である親や子の意見を聞き、納得の行く説明をす

べきではないのか?子供の一生に関する問題なのだから。質問をした市議や教審の人達は、その努力をしたのだから?それに、学校を造り過ぎたのなら、その街の人口推移を予想できなかった市長や市幹部の責任ではないか?近未来を予想し、住民への対応を考えるのが行政の仕事ではないか?と思うのですが……

いつ大地震が起きても不思議ではないと言われる時に、松戸駅周辺に高層マンションを乱立させて、もし、生活基盤を支えるルートが全滅したら、大パニックをひき起こすと思うが、その対策は充分なのだろうか?教育予算の前に審議された消防予算の時も、答弁がお座なりだった由。

とにかく、形式だけ整えて書面に残せばそれでよし、とする体質はなんとかならないものだろうか?聞いていて、歯がゆくなります。

という訳で、お目当ての図書館費についての審議は、午後になってしまいました。聞きたかったけれど、狭い室内にぎっしりの人（ほとんど市職員）で気分が悪くなり、過呼吸になりそうだったので、失礼してしまいました。残念！

図書館費予算の

審議傍聴

青木 和子

3月22日、午前に引き続き、午後、教育費の予算審議が行われました。そのうち、図書館費の審議概要を、お伝えします。

いつもの事ですが、会場の最後部分にある傍聴席は非常に声が聞きとりにくいので、内容が違っていている部分があるかも知れません。どうぞご了承ください。

①名木議員：図書館本来の事業目

標には利用率・貸出し率の向上などがあるが、松戸としては？
②図書館長：事業目標は当然認識している。貸出し・宅配・レファレンスなど、努力していきたい。

③名木議員：図書館の機能は情報発信・ビジネス支援など、と国の方針にもあるが松戸では？
④図書館長：ビジネス支援サービスなどについては承知している。今後の検討課題である。

⑤名木議員：学校図書室などの諸施設との連携は？
⑥図書館長：インターネットをつないでいる。県立図書館や近隣の図書館とは相互協力している。どのような連携ができるか、研究の必要がある。

⑦名木議員：おはなしキャラバンについて、他市の読みきかせの実態を把握しているか？
キャラバンの一回の公演料は？

⑧図書館長：他市のおはなし会の状況は、内容はいろいろで、ほとんどは職員が読みきかせしている。キャラバンの一回の費用は内容によって異なるが、人件費（一回6人）・ポスター・チラシなどの合計で平均3万2千円。

⑨名木議員：キャラバンに場所を提供しているが、無償なのか？
⑩図書館長：公用扱いなので無償。

⑪名木議員：独自に活動している団体であるキャラバンの収益金ほどの程度か？その扱いは？
⑫図書館長：人形の貸出しや市外からの公演依頼の収益金は、112万4千円。その中38万1千円は返却し、他は修繕や備品購入にあてている。

⑬名木議員：H17年度キャラバン関係予算を50万円削減しているが、これまでとの違いは？雇用は？
⑭図書館長：公演内容を変更し、市民センター中心の公演に。それがない所は小学校・幼稚園で公演

職員2名減の影響は、現状では問題なし。将来については、その時に対応したい。

質名木議員…おはなしフェスティバルの内訳は？

答図書館長…フェスティバルは、市内外のグループの協力で、おはなし文化普及活動として行っている。H17年度予算は、28万一千円（ポスター・チラシ・保険料など）。前年の参加者は2630人（24団体）、貸出しは180冊。

質名木議員…図書館職員が少いのならば仕方ないが、決して少くはないのに、キャラバンのような団体に、何故、松戸だけが多額の費用をかけているのか？

H16年度のキャラバン関係経費は71万一千円を公演回数257回で割ると、一回25万余になる。答弁で、一回の公演料3万2千円の根拠は？

答図書館長…おはなし会の経費だ。質名木議員…収益をあげている団

体に、何故、無償で場所を提供しているのか？

答図書館長…公益性があるので無償供与している。児童奉仕業務などの実績を評価して、予算を組んでいる。

質名木議員…現在の松戸市立図書館は貸出しにシフトしているようだが、利用率・貸出し率が向上している所では、ビジネス支援などの新しい展開をしている。サラリーマンや中小事業者の多い松戸にこそ、これが必要なのではないか。今後益々求められると思われる、新しい試みを要望する。

キャラバンも、これまででは一定の働きがあったのは認めるが他市で実施している、図書館職員による「お話し会」が、松戸ではどうしてできないのか？先進他市では、図書館職員が一年間に館外で90回、館内で40回、一

日平均回数のお話し会をしている。市内にもレベルの高い市民のグループがあるが、キャラバンがあるために、その能力が活かされていないのではないか。

キャラバン関係費については、何らかの削減・改革が不可能ではないと思う。

先ず、図書館全体の将来像・写真を示してほしい。

質城所議員…インターネットでの貸出し状況は？注文してからどのくらいで届くのか？

答図書館長…貸出し数は飛躍的に伸びている。本は2週間程で届く。

質城所議員…対面朗読の状況は？

答図書館長…月に1〜2回。老人ホームで。

質城所議員…夜間開館を増やせないか？

答図書館長…現在は水曜・金曜にPM7時まで本館で、開館日を増やす事に対応したい。経費をかけな

いでやりたい。

望城所議員。キャラバンの業務の状況については、名木議員の質問とその答弁で、良しとする。今後読みまかせなどは、ボフンティア・グループによる草の根的な運動を展開してほしい。

大体以上のような審議でした。一般家庭の家計にも通じる事ですが、市政についても、お金(税金)の使い道を見ると、その姿勢考え方がよくわかります。

果たして、松戸市は……？ 行政用語などが多くあり、とてもわかりにくいのが予算書・決算書ですが、これからも注目していきたいと、あらためて感じました。



松戸市立図書館では

塚崎松男館長が3月で退職され、4月からは、山崎陽司館長が就任されました。

松戸市立図書館の発展のため、尽力くださる事を期待します。

浦安市立図書館では

一昨年度までは図書館長を、そして昨年度は、生涯学習部次長を務められた常世田良さんが、3月で浦安市役所を退職され、日本図書館協会常務理事に就任されました。

これからは、日本全国を、また、世界をも対象として、ますます活躍される事と、大いに期待しております。

後記

先のような審議内容にもかかわらず4月24日(日)発行の市議会だより(発行松戸市議会、編集広報委員会)には、昨秋の決算委員会と同様、図書館費については、一切触れられていませんでした。どうしてなのでしょう？

傍聴をしていない市民は、議会で、どのような事について議論が交われているのかさえ、その真の姿を知る術はなく、大切な血税の使い道は市民から見えない所で、粛々と決められていくのです。皆さん、議会傍聴に行きましょう！！

